

平成 28 年度全国大会国際関連行事における特別討論会の企画
国際センター&建設マネジメント委員会共催

日時、場所：平成 28 年 9 月 7 日（水）10：40～12：40 仙台国際センター会議棟 2F、萩

テーマ名：これからの我が国の国際貢献について

(1) 概要

日本は戦後、長い期間にわたってアジアを中心に ODA を実施し、多くの国でトップドナーとしてインフラ整備等を支援してきたが、近年の ODA 予算額は平成 12 年前後のピーク時に比較して半減していることに加え、中国や韓国など新進援助国の進出により、援助界における日本の地位が相対的に低くなってきている。

しかしながら、現在でも ODA 等を通じて日本の土木技術は海外でも利用されており、日本の進んだ土木技術を学びたいとの希望を持っている国は多くある。戦後数十年で日本を復興させた我が国の建設技術力を活用して、発展途上国のインフラ整備を支援することは日本が国際社会の中でプレゼンスを高めるうえで大変重要なことである。また同時に、建設技術の移転、現地の人材育成に寄与することは、国際社会の発展のために日本が果たさなければならぬ大きな役割であると考えられる。

政府のインフラ輸出の方針のもとに様々な取組みがなされているなか、JICA と国土交通省から話題提供いただき、これからの日本の国際貢献への取り組みについて議論を進めたい。

(2) 話題提供

JICA、国土交通省から各 20 分間の話題提供いただいた後、建設マネジメント委員会 ODA 活用小委員会で提案した包括的建設サービス方式（WCS）の紹介をする。

- JICA における現在の取組みと今後の展望（20 分）：JICA 企画部 田中総東参事役
- 国土交通省における現在の取組みと今後の展望（20 分）：海外プロジェクト推進課平井課長
- WCS の紹介と概略説明（10 分）：土木学会建設マネジメント委員会 ODA 活用小委員会

(3) パネルディスカッション

- 座長： 福本勝司（建設マネジメント委員会 ODA 活用小委員会副小委員長）
- パネラー： 木下誠也（日本大学 危機管理学部 教授）
柴田純治（(株) オリエンタルコンサルタンツグローバル、執行役員 グローバルソリューションズ事業部 事業部長）
田中総東（(独) 国際協力機構（JICA）企画部参事役）
傳 暁（大成建設（株）常務執行役員 国際支店 副支店長）
平井節生（国土交通省 総合政策局 海外プロジェクト推進課長）

（以上 50 音順、敬称略）

学識経験者、ゼネコン、コンサルタントから各 5～10 分程度日本の国際貢献について意見をいただいた後、今後の国際貢献についてのパネルディスカッションを行う。約一時間の予定。